

ユウパ リコザク ラの会 だより

夕張市へ新ヒュツテ

建替事業終了の報告

皆様には新しいお年をお迎えになりお慶び申し上げます。

去る一二月二〇日、代表と事務局長は鈴木直道市長を訪問し、二〇一〇(平成二二)年六月の立案から二〇一三(平成二五)年十月で終了した、市営ヒュツテ建替事業の報告書を提出しました。

藤井代表は平面図、募金総額七百三〇万円
の収支決算書、協力企業団体名簿等で事業内容を説明し、特に建替えの実作業には延千七百五〇名余りの無償ボランティアが就労したことなども付け加え、立案から完



市長へ建替事業終了の報告

成まで四年間で、夕張市の財政再建より一足早くヒュツテの再建が達成した事を報告しました。

第95号

2014.1.27 発行
(平成26年)

ユウパ
リコザク
ラの会
事務局

〒068-0412

夕張市鹿の谷東丘町3
水尾君尾方

TEL/FAX 0123-52-3306

携 帯 090-8632-8928

E-mail
kozakura@m8.dion.ne.jp

ホームページ
<http://yuparikozakura.org/>



2014年を迎えたヒュツテ

鈴木市長は「ユウパ
リコザク
ラの会は、
本当に良くやってくれています。七月に予定した登山が出来ず、完成したヒュツテもまだ見ていないのが残念です。来年は是非登山とヒュツテの視察を行いたい」と労いと謝辞を述べられました。

四年間此処に至る迄関係機関や多くの皆様からのご厚志、ご協力を頂きました。心よりお礼と感謝を申し上げます。

「アポイ岳と夕張岳のつながり」

を講演させていただいて、

「夕張岳初登山の感想」

(平成二十五年七月二十日(土)～二十一日(日))

アポイ岳ファンクラブ 加藤 聡美

昨年から行きたい、行きたいと思っていた夕張岳に初めて登りました。また夕張岳ヒュッテで第五回、旧産炭地域子供交流事業で講演をさせていただきました。

一日目は、様似町を出発し「バリー屋台村」でカレーラーメンを食べ、夕張メロンソフトクリームを食べ、石炭博物館を見て、夕張岳ヒュッテへ向かいました。

山の先生のお話ということで私が「夕張岳とアポイ岳のなりたち」と題して足元の地面のお話をさせていただきました。夕張岳は地球の大きな力で押されて地面が盛り上がり褶曲し、雨や風や雪で削られてできた山。アポイ岳は、プレートとプレートがぶつかり、めくれ上がってきた山であることをお話しました。夕張岳、アポイ岳はともにお花が有名ですが、お花が育つには土もかわっています。大地も含めて自然の恵みということをお話しました。なじみにくいお話になってしまったのですが、熱

心に聞いてくれた子供たち、参加者のみなさん。その後、夜遅くまでこの石は何？と興味深々の子供たちもいました。石をはじめとして、植物や鳥など自然一般に興味関心の高い子供たち。楽しくお話しながら、夕食に美味しいカレーライスをいただきました。

二日目、五時三十分、ヒュッテを早めに出発し、アポイ岳ファンクラブ田中さんと夕張岳山頂へ向かいました。天気に恵まれて、景色とお花を楽しみました。前岳々夕張岳の間では巨大な岩が飛び出ているノツカー地形を眺めながら歩きました。湿原は、アポイ岳にはない景色です。私は湿原が何とも言えず好きで、ゆっくり歩きました。シロウマアサツキ・シラネアオイ・カトウハコベ・サマニヨモギなど多

くの種類のお花を見ることができました。遠くにユウパリコザクラを見ることができました。ユウバリソウの花の季節は終わっていましたので、またの季節に登りたいなと思います。

十時十分、夕張岳山頂に到着。富良野市方面の景色を眺めながら、昼食を食べました。こんなに山頂に滞

在できるのも今年が特別だということをかみしめながら。

十二時五十分、ヒュッテ着。アポイ岳よりも緩い登りでしたが、長い道のりでした。なによりもいい山だなと思いました。冷えた夕張メロンをいただき疲れが吹き飛びました。

アポイ岳ファンクラブを設立するときに、できるのかなという不安もあったそうですが、ユウパリコザクラの会のお話をお聞きし、私たちも頑張ろうと思うきっかけだったと聞いています。今回参加して、子供たちの自由な発想が生まれている素晴らしい事業をされているのだな、会の活動あつての夕張岳なのだと思いました。



夕張岳山頂にて田中さん(左)と私



ノツカー地形を見ながら湿原を歩く

秋の官民合同

パトロールに参加して

会員 伊藤 泰弘

先週の三連休は台風の影響により風雨でしたが、パトロール当日（平成二十五年九月二十一日（土））は好天に恵まれ絶好の登山日和。大雪山系の黒岳からは初冠雪の便りが届き山は冬間近。もうすつかり秋となった夕張岳を、夕張警察署の方々（三名）、ユウパリックラの会員（五名）でパトロール登山を行いました。

登り始めはちよつと蒸し暑さも一汗かきました。みなさん健脚で順調な登山。花は余り詳しく語れないのですがエゾオヤマリンドウやエゾホソバトリカブト、ミヤマアケボノソウなど何故か紫色の花が目立つ。そして赤、ナナカマドの実。紅葉の方は見頃を迎えているようです。

豪雨により崩壊した登山道（望岳台付近）は、何人が登山者が歩いたことにより二週間前よりも幾分歩きよくなっていました。なお他に崩壊している場所や倒木等で登山道をふさいでいる場所はありませんでした。登山中に出会った他の登山者は連休初日の好天にもかかわらず五名ほど。林道の通行止めが影響

しているのではと。

山頂近くでは熊のフン。今年はどうぐりの生育が悪い事によりヒグマの出没が例年より増えるという新聞記事を読み出しました。「どんぐりとヒグマ」関係無さそうで関係があるんですね。生物多様性という難しい言葉も思い出しました。また、登山道にはリスのいたずら（越冬のため食糧確保）かハイマツの実が散乱していました。

吹き通しの風の強さは頂上まで変わらず。よって頂上の寒さは登山口のそれと比べ物にならないほどでした。と言つこともあり頂上ではパトロールの皆さんと記念写真を撮りサツサと下山開始。お昼は夕張岳神社近くで

と思いましたが風であずましくなく一気に千四百mの水場まで降りそこでお昼にすることにしました。

下山は馬の背コース。馬の背コースも笹刈りが行き届いており以前より大変歩きよくなっていました。笹刈りは豪雨の中行つたと聞いております。笹刈りのみなさんご苦労様でした。

馬の背コースをゆつくりゆつくり下山。川音が聞こえ



秋の官民合同パトロール

始め「ヒュッテはもうすぐ」の一声にパトロール登山のみなさんの笑顔。全員無事に下山しました。お疲れ様でした。新ヒュッテでは管理人さんからおいしいコーヒーのご馳走、登山の疲れは一気に癒されました。ありがとうございました。

◆参考までに、コースタイムは以下の通り。

7:31 冷水コース登山口 → 7:58 休憩場（5分休憩） → 8:32 冷水の沢（10分休憩）
 → 9:26 石原平（10分休憩） → 10:48 1400m（5分休憩） → 11:33 頂上（気温約10℃）
 → 12:12 1400m（昼餉約30分） → 13:26 望岳台（5分休憩）
 → 13:56 分岐（下山は馬の背コース） → 14:45 ヒュッテ着

賢治と遊んで

新ヒュッテのいげら落として

新ヒュッテの運用開始は九月七日でしたが、その翌日の八日には、演劇「三弦橋まで」を公演された本山節彌さんや斉藤正義さん、鳥嶋清嗣郎さんの仲間ら十五名が、札幌・穂別・苫小牧から駆け参上されて「賢治と遊ぶ・夕張岳でユウバリコザクラに出会った」という集いを催して頂き、新ヒュッテオープンを飾りました。この日藤井代表他会員三〇名は作業の手を休めて登山者五名と共に詩の朗

読や「星めぐりの歌」を合唱して楽しみました。今回のこの集いは新ヒュッテの履歴の最初に刻まれた意義のあるものとなりました。



沢山の人々がヒュッテ見学と演技を鑑賞に集まった

賢治と遊ぶ

夕張岳でユウバリ「コザクラと出会った」

演劇集団「群73」

代表 鳥嶋 清嗣郎

私が夕張岳にあったのは、「三弦橋まで」の苫小牧公演で大成建設さんのご厚意で三弦橋の近くの建設現場まで入る事が出来た時でした。三弦橋の対岸の奥にそびえる山だと思ひまして、水尾さんに聞いたところからは見えないですよ」と簡単に云われました。その時思った事は夕張岳つて荘厳で気高い山だと感じました。

平成二十四年三月無事に「三弦橋まで」の夕張公演が終わりまして、水尾さんにDVDを届けた時に、春がまだ遠い夕張の雪の中で、ユウバリコザクラ会の皆さんが学校を解体した廃材に一生懸命に取り組んで居ましたので、その廃材をどうするのですかと聞きました。

夕張岳のヒュッテを自分たちの手で建て替えると聞きました。帰ってから、もーさん（本山節彌氏）に話したら、オープ



鳥嶋 清嗣郎氏

ン記念に何かしてあげたいねと云いまして、ヒュッテで子供たちの芝居をしようと決まると、「よだかの星☆」の脚本を書いてくれました。

もーさんと下見にヒュッテを訪ねた時に、やはり夕張岳は荘厳で気高い山だと思いました。

帰りの車の中で子供たちには無理な場所だと分かりまして、この夕張岳には宮澤賢治が一番似合うと感じまして、賢治と遊ぶ夕張編を企画したのです。

それからが大変で、菅村敬次郎さんには

「雨ニモマケズと永訣の朝」の朗読をお願いし、斎藤正義先生には本山節彌との対談をお願いして、斎藤先生は快く引き受けて下さいました。

演劇集団「群73」のメンバーには「よだかの星☆」のリーディング、「セロ弾きのゴーシュ」の清水さんはチェロを運べるかどうかで、結局は運送に難があるとの結論あり、(清水さんのチェロはかなり高いそうです)「星めぐりの歌」を歌唱指導、「グスコウブドリの伝記」グスコ役の田中温子は現在札幌でプロ活動していますので、プロダクションに内緒で遊びに来たが、NHKの取材カメラでその日のニュースをみてひと安心。総合司会の森一生先生もOKをいただき、賢治と遊ぶ 夕張岳でユウパリコザクラと出会った が無事終わりました。

来年五月に苫小牧市で宮澤賢治学会の全国大会があります。宮澤賢治が苫小牧の王子製紙に修学旅行に来てから九十年目の事を記念して開催します。

全国から賢治ファンが集まります。一般参加もOKですから賢治大好きの方は苫小牧市で会いましょう。



朗読「雨ニモマケズ」菅村啓次郎氏



賢治について対談 斎藤氏(左)と本山氏(右)



朗読「永訣の朝」菅村啓次郎氏



演技「グスコウブドリの伝記」集団「群'73」

お花畑は、いま・二〇一三

市民フォーラム開催
北海道高山植物保護ネットワーク

水尾 君尾

一九九八（平成十）年に発足した「北海道高山植物盗掘防止ネットワーク」は、高山が抱えるさまざまな問題に取り組むため、二〇一〇（平成二二）年に「北海道高山植物保護ネットワーク」と改称しました。植物の盗掘のみならず、オーバーユースや外来種問題、エゾシカの増加、地球温暖化問題などにも取り組むネットワークとして活動しています。二〇一三（平成二五）年度の市民フォーラムは去る十一月十六日、北海道大学院環境科学研究院に於いて開催されました。

保護ネット代表の大原雅北海道大学教授から開催挨拶の後、当会藤井の司会進行で分類学をテーマにした講演などを聴きました。

一題目は、東隆行氏（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）の進撃の系統分類学（ヤナギ科の場合）、

二題目は梅沢俊氏（植物写真家）のムード

派分類学からみた北海道のアザミです。梅沢氏は道内のアザミ五種が新種として発表され、その生息地について写真で紹介し興味ある講話に会場から多数の質問がありました。

若手の研究者からは、雨谷数弘氏が「気候変動に対するハイマツの分布域の応答」、飛田千壽氏は「テンナンショウの性転換について」と二題の発表。地域からの報告の中では、会員の杉浦晃介（酪農学園大学技師）が、夕張岳における防鹿柵を用いたエゾシカ被害対策調査について、佐藤謙氏（北海道学園大学教授）と連携した活動を発表しました。



2013年度市民フォーラムにて



産炭地域子ども交流会 今年も皆さん集まりましょう



子ども交流会：僕もわたしも元気に山登り

会のうごき

9月

- 9日 コザクラだより 第94号 発行
- 14日～16日 新ヒュッテ作業 延 15名
- 21日 夕張署と高山植物パトロール
夕張署3名 当会5名
- 21日～23日 新ヒュッテ作業・資材搬入 延 14名
- 28日～29日 旧ヒュッテ解体作業協力 5名

10月

- 1日 旧ヒュッテ解体工事 発注者 市教委
- 5日～ エゾシカ対策電気柵撤収 道庁6名
- 6日 エゾシカ対策物理柵・カメラ撤収
酪農大 杉浦ら4名
コースロープ撤収・ゴミ回収 6名
新ヒュッテ作業 4名
- 11日 空知森林管理署へ
ヒュッテ周辺継続使用許可申請
- 12日～13日 ヒュッテ冬仕度 新玄関部工事 延 26名
- 14日 ヒュッテ冬仕度 尿汲み取り 7名
- 15日 記念誌編集会議 5名
- 19日 「幸福の黄色いハンカチ基金」助成事業
不採択通知
- 19日 東京夕張会へ当会活動報告 1名
- 19日～20日 ヒュッテ冬仕度 新玄関部工事 延 12名
- 23日 市払下げ原木玉切り作業 2名
- 26日～27日 玉切り木及びヒュッテ資材運搬・搬入
延 10名

11月

- 2日～4日 市払下げ原木玉切り作業・運搬・搬入、
内装工事、資材・工具整理 延 18名
- 8日 記念誌編集会議4名及び役員会6名
- 9日 新ヒュッテ巡視 2名
- 16日 北海道高山植物ネット市民フォーラム
報告：杉浦「夕張岳に於ける防鹿柵を用いた
エゾシカ被害対策」
- 17日 市払下げ原木玉切り作業 2名
- 22日 記念誌編集会議 4名
- 30日 平成25年当会望年会
ミーティングルーム 25名

12月

- 14日 新ヒュッテ（一部イメージ）
木版画カレンダー発行 20部
- 20日 夕張市長へ市営ヒュッテ建替事業報告書提出
同報告書＝空知森林管理署・空知総合振興局・
北洋銀行夕張支店・市教育委員会・夕張市
議会議長・夕張市議会議員
- 21日 記念誌編集会議 6名及び役員会 7名

1月

- 8日 記念誌編集会議 5名
- 25日～26日 ヒュッテ巡視・雪下ろし 6名



10月6日今年最後の森林パトロールへ



吹き通しのロープ撤収



11月30日賑やかに望年会開催

夕張岳春山パトロール

例年のように、夕張岳の春山パトロールを実施します。

日 時 平成26年3月21日(金・祝)
~23日(日)

参加できる方、装備などについては
会の事務局までお申込み、
お問い合わせ下さい。

創立 25 周年記念誌 「ようこそ花の夕張岳 - II」 発刊報告会

日 時 平成 26 年 5 月 1 7 日
13 時 30 分 ~

場 所 夕張市
清水沢研修センター

ヒュッテ建替募金収支報告

市長への報告記事にあります「一口千円
1万人」建替募金は平成 25 年 10 月末で
収支を締めたところ、募金は 1210 件約 7
百 30 万円、借入金 30 万円。支出が基礎
工事・屋根工事・建設資材等 6 百万円、
重機リース代・工具費・燃料費等 90 万円、
通信・事務・雑費等 70 万円の総計 7 百
60 万円となったことをご報告いたします。

引き 続き 新夕張岳ヒュッテ 整備基金のご協力お願い

新しいヒュッテは完成しましたが、引き続い
て炊事棟や物置棟の設置にトイレ等の改修
など、まだまだ費用のかかる事業が待ち受
けてますので、今後も引き続きヒュッテ整
備のための基金へ暖かいご支援をお願い申
し上げます。

名 義
夕張岳ヒュッテ管理運営委員会
ゆうちょ口座
02750-6-97634

編集後記 95号の発行が遅れましたことお詫びいたします。

第32回東京夕張会へ出席 当会の活動をアピール

十月一九日新宿区市ヶ谷で催された東京
夕張会へ出席してまいりました。三村敏子会
員の献身的な支えと、今野会長、磯部副会長、
東事務局長の方々のご協力を得て、夕張岳を
守る市民の活動を宣伝してきました。

写真は左から鈴木成夕張市理事、渡部侃東
京夕張会副会長、都築一意札幌夕張会長、水
尾、三村敏子会員、今野勉東京夕張会長、大山
修二夕張市議会議員。



ヒュッテ屋根の雪下ろし

例年のように、ヒュッテの屋根や周辺状況
調査をおこないますのでご協力願います。

日 時 平成26年2月15日(土)
~16日(日)

参加できる方は会の事務局まで
お申込み下さい。

会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

お陰さまで当会は創立 25 周年を迎えます。
引き続き会員としてご支援ください。夕張
岳の自然に興味のある方、当会の活動に関
心をお持ちの方はユウバリコザクラの会へ
入会、又はご寄付をよろしく願います。

年会費 2,000 円 家族会費 3,000 円
名義 ユウバリコザクラの会
ゆうちょ口座 02780-9-43747